

12月の子どもの様子 にじ組

寒い冬がやってきました❄️寒いから…ではなく、寒い冬も元気に過ごそう!ということで、短時間でも戸外に出て雪に触れて遊びました。冬ならではの行事や遊びを取り入れながら、暖かい園内では保育室、ホール、廊下で楽しく遊びました。一人でじっくり遊ぶ時間だけではなく、お友達と同じ遊びをして声を出して笑ったり、「一緒に遊ぼう」「おいでー」など簡単な言葉でやり取りをしたりしながら遊んでいます。「使いたい」「一人でやりたい」など自分の思いがあり、上手い出来ないこともあります。頭をなでたり、泣いた後に笑って一緒に遊んだり、子どもたちの成長を感じます♡

- ～ねらい～
- ・冬の寒さや感染症予防に留意し、健康に過ごせるようにする
 - ・保育士に仲立ちされながら、他児と関わることを楽しむ
 - ・冬の行事を身近に感じ、雰囲気を楽しむ



お友達と一緒に♡できることがふえたよ♡

ブロックを並べたり、長くつなげたりすることが上手になったと思っていたら、あっという間に組み立てることも上手になりました。パズルやポンポンを使った遊び、シール貼り、ままごと…指先をたくさん使って遊んでいます。タオルはぬいぐるみのお布団に…と思ったのですが、それ以外にも洗濯ごっこや、かくれんぼ、ベルト、マフラーなど子どもたちのアイデアでいろいろなものに見立てて遊ぶことができるようになってきました。子どもたちのイメージが膨らむように、子どもたちの声に耳を傾けて身近な素材を加えていきたいと思えます。

わくわくクリスマス🎄



12月と言えばクリスマス♪子どもたちにもクリスマスならではのわくわく感、特別感を味わってほしく、歌やダンスを楽しんだり、楽器遊びにサンタクロースのパペット、クリスマス会前後には、サンタさんのようにプレゼントを配ったり、パーティーごっこをしたりして楽しみました。サンタさんの登場に多くの子どもたちが泣いてしまいましたが、クリスマス会に向け、子どもたちの中にもわくわくがいっぱいだったように感じました。サンタさん、プレゼントありがとう♡



ゆき! ゆき! ゆき~❄️



イメージをもちながら…



雪が降り、外を見ては「ゆき! ゆき!」と話しています。寒さに負けず、外に出て振り積もった雪の上を歩きました。足元を確認するように見て歩き、慣れてくると足をバタバタさせることもありました。歩いたり走ったりするだけではなく、散歩先や園庭で雪に触れ、雪の冷たさ、感触を確かめるような仕草も見られました。低月齢児のお友達は、今シーズンが初めての雪遊びだったかもしれませんね。一人一人経験も違うので、子どもたちの仕草を見ながら「ふわふわだね」「冷たいね」「ぎゅっぎゅって聞こえるね」など言葉を添えるように関わりました。そして…大好きなブルドーザーを見る機会も増えて、わくわくの子どもたちです♡

積木を高く積み上げて遊ぶことが増えてきました。高く積み上げるだけではなく、車に積木を積んで運んだり、中に入って遊んでいるとお友達が動かしてくれたり、玩具を組み合わせてはたらく車のイメージをもって遊んでいます。また、年末には大掃除ごっこや、餅つきごっこもして新しい年を迎える準備もしましたよ。いろいろなことを経験することで、遊びも変わってくるので、1歳児なりに様々なことを経験できるようにしてあげたいです。

